南相馬ブログ新聞

インターネット上のブログ（日記の一種：掲載許可済み）等からの転載です。執筆者は南相馬市関係の方（滞在の方・避難された方等）が主体です。**内容は個人の意見であり公のものではありませんがそれぞれの立場での本音が書かれています。**同じ被災者・市民同士の生の意見として参考にしていただければ幸いです。

編集・発行　NPO ながおか生活情報交流ねっと soiga01@gmail.com、今まで協力いただいた先（判明している所のみ）：長岡大学、同学生有志、長岡技術科学大学ボランティアサークル、飯田ボランティア協会、山古志村のマリ　配布協力避難所：新潟県長岡市内・湯沢町内・見附市内・小千谷市内、長野県飯田市内・豊丘村内、ほか

新聞 PDF 置場　http://www45.atwiki.jp/soiga/pages/137.html

今日で通算 100 号になりました

3 月 25 日第 1 号発行、それはA4表裏の 2 ページだけでした。その後すぐ 2 号からはA3用紙に 4 頁物になりました。記事量が思ったより多かったのが理由です。ブログを書かれている皆さんはより多くの情報をより頻繁に発信しようと一生懸命でした。
避難された市民に情報が無い事がわかったのです。
1 号の記事は
1、「原発から一時帰還しました。暗い話なので興味ない方はスルーして下さい（ブログ名：えび父さんの日記）」
2、「ジェベでお出かけ　（ブログ名：|壁|д゜)）」
3、「自主避難勧告（ブログ名：東北の関西人）」
以上の 3 本のほかにまちBBSから南相馬関連情報を掲載していました。

3 月に 5 号、4 月に 26 号、5 月に 24 号、6 月に 21 号、7 月に 13 号、8 月に 11 号、合計 100 号です。
　避難所配付でご協力いただいた、新潟県内の見附市・小千谷市・湯沢町の皆さん、地元長岡の避難所のボランティアの皆さん、大学生やその関係者の皆さん。そして遠くは長野県飯田市・福島県福島大学の皆さん、そしてツイッター等で情報の拡散や新聞配付にご協力いただいている全国の皆さん、本当に有難うございました。
　南相馬市の皆様が一刻も早く安全な生活ができるように、そして元の生活に戻れることをお祈り申し上げます。

##

南相馬市から8月24日夕方　サイヤ社長のブログ

福島県南相馬市で青果食品惣菜スーパー「Saiya」を経営しています。 新鮮な話題をお届け！　2011-08-24 16:38:21
http://blog.goo.ne.jp/shigeki2121/e/4bbb6e7835105dad8c04815d11deb9b6
8月末に東電から賠償金の本払いの概要説明があるようです。どんな内容になっているのかわかりませんが、ごまかされないように、だまされないように、しなければなりません。正直こんがらがっています。賠償請求といっても、何を基準なのか、仮払では粗利高を元にしましたが、期間は限定的でしたし、今の経済環境がいつまで続くのか、良くなるのか悪くなるのか、まだ見通しも付かない今現在での賠償金の本払いには、疑問ですよね。東電や国は早く決着して賠償金を少なくしたいと考えているようですが、10k20k圏内の警戒区域内の人たちがどうなるのか、家や土地、会社、工場、などの
資産はどうなるのか、東電がきちんと説明してくれるのでしょうか。

警戒区域内に家のある方が、放射線年間15ミリシーベルトだから、入れるし生活できそうだから解除になれば帰るんだと言っていましたが、人それぞれ考えがこうも違うのかなと思いました、でも自分でも放射線が高いと言われてもやっぱり帰りたくなりますよね。国が20ミリシーベルト以下ならと言っているからとの事ですが、間違いではないかなと思っても大丈夫だと期待してしまいますよね。
誰だって自分の家に帰りたいですよね。元も生活に戻りたいですよね。

今日、お昼に全日食の副理事長と津波の被害（石巻）に遭われて店を無くした方がサイヤを見学に見えました。9月に仮設店舗で営業を再開するとのことですが、周りはまだ家も無くどうなるのか不安だが、店が営業することで人が帰ってきて、また元の街並みになることの先駆けになるよう頑張りたいとのことでした。

南相馬市から8月25日夜　2011-08-25 19:38:22

http://blog.goo.ne.jp/shigeki2121/e/eeb691b1d1c8f766de744912170dbd38
今日は、福島市でお惣菜勉強会でした。新しい情報がいくつかありました。一番は食中毒についての安全対策です。基本ですが改めて勉強してみると、事の重要さ大事さが身に染みてわかります。
福島の方達に南相馬市の放射能の実情を話しましたが、あま

り乗り気にならず、関心もないようで、福島市の方が高いはずなのに、この温度差はなんなのか？きっと国が定めた避難区域という、基準があるかないかの事で、人の危機感が違ってしまうのかな？
食べ物の内部被爆についても、いまいち関心が福島産の物が売れない話になってしまい
これほど意識が違うのかなと思いました。

4月5月頃までは福島産、頑張れと各地で(おもに東京)売れていましたが、牛肉の事が出てから影響が出始めて、福島の桃が大変なことで終わりそうです。
セシウムは基準以下もしくは検出されずにもかかわらず、地元でも売れないのは、どうしたものか？安全、安心と言えば言うほど、信用されないとは、行政への不信感があるようですね。困ったものです。

お客さんの顔ぶれが変わっています。新規顧客が増えているのか、今まで来ていたお客さんが少なくなっているのは間違いないですが、見られないお客さんが増えているのは間違いないです。有難い事ではあるのですが、いつまで来ていただけるのかが心配ですが。

##

集団避難所は　いま　・・・

負けてらんにぇ！みんなでなんとかすっぺ！！

南相馬市から新潟県三条市へ集団避難した者たちの現地報告です。　2011-08-26 10:38:53

http://blog.goo.ne.jp/minamisoumashi-hinan/e/03dcd15ac78122e2f7107923cef14a1b

本日(26日)　朝
何度目かの帰郷バスを見送りました。

広々とした集団避難所は
ますます　ガラ～ンとなりました。

ゆく夏　・・・
いのちをいと惜しむかのように鳴く蝉の声が
心なしか弱々しく感じられ
・・・　寂しくなります。

(編集者より参考:下は同ブログ 4 月 11 日号の写真です)

##

除染

ゆっ太郎 (2011.08.25 03:30)

相双ゆたどさ ゆったりがどっさり。～ふくしま相双～

http://yumesoso.jp/yutadosa/archives/3700.html

8 月・9 月の 2 ヶ月間を市内除染強化週間と位置付け実施した施設の放射線量半減を目指しさらに除染活動を継続することで空間放射線量を 1μSv/h 未満とする目標に沿って南相馬市独自の除染活動が行われています。

除染対象は、市内すべての施設。
農地・森林・河川などについては国の除染方針が明確になった時点で市放射性物質除染方針へ追加するとしています。

【南相馬市役所】(URL:http://www.city.minamisoma.lg.jp/)
TOP ページ→東日本大震災関係情報
・放射線等に関する情報→・放射性物質の除染に関する情報について

まずは、こどもたちが通う公立の学校・幼稚園・保育所等の施設と通学路。

緊急時に避難の必要な区域からの 30km 圏外とされ市内へ戻ったこどもたちの通う小中学校は除染作業量が膨大であるとされ今日 25 日(木)の始業式に間に合いませんでした。

また、南相馬市の除染方針などによると公立(市立)保育所は線量に関わらず公費により市自らが業者等を手配し除染が行われていますが民営保育所経営者はいったん除染費用を自己負担しなければならずまた最近決まった公費助成との差額は持ち出しということになります。
文科省管轄の私立保育園も同様です。

日本一遅い卒業式を 8/16 に行ったよつば保育園で、8/17～8/23 まで支援団体や、ボランティアの方々、先生方と保護者で園舎の除染作業にあたりました。
【よつば保育園】:ヨシユキ副園長 よつば青雲ブログ(URL:http://yotsuba-ho.seesaa.net/)
園庭の表土と砂場の砂を削り園舎を高圧洗浄機で洗浄し
園舎に隣接する、園児たちが駆けまわって遊ぶ空地の草刈。

言葉で表すと、たった 3 行の作業に膨大な労力が伴います。

除染の統括をすすめる「安全安心プロジェクト」の皆さん。
(URL:http://www.geocities.jp/ansinanzen_project/)
園内の詳細な見取図を作成し測定地点を細かく設定し
除染作業実施前と実施後で線量測定し作業実施後線量 1/3 を目指します。

園の土地へ 6m x 6m x 1.5m の穴を 2 つ掘り
削った園庭の表土や砂場の砂を埋め
掘おこした土をその上からかぶせて処置します。

表土を削る除染活動にあたられていた方々の背中には
相双 PRIDE の文字が。
くじけない あきらめない それが相双の誇り。

[南相馬市原町区] ワールドスポーツ
(URL:http://www.sports-nakama.com/world-sports/)
「相双PRIDE」復興義援金Tシャツ　￥1,500-(義援金 500 円)
福島県南相馬市原町区本町 1-61　TEL:0244-24-0496

##

元気に音楽体験「風のカーニバル

南相馬市ホームページ　写真で見る東日本大震災

http://www.city.minamisoma.lg.jp/sinsai/2011-08/kaze.jsp

【2011 年 8 月 19 日】

放課後児童クラブの児童を対象に音楽鑑賞教室「風のカーニバル」は鹿島区上真野小学校体育館で行われ、約 50 人の児童が参加しました。

全国各地の小学校などでコンサートを行う「橋井晴彦アートオフィスポカポカ」が「ももくり 3 年かき 8 年」や「風のカーニバル」などのオリジナル曲を演奏し、児童たちは音楽に合わせて元気に体を動かしました。

▲楽しいステージの始まり！▲みんなで歌おう「ももくり3年かき8年」

▲元気に体を動かす児童　▲曲に合わせてジャンプ

▲楽器に興味津々　▲体全体で音楽を楽しむ児童

ボランティアに感謝と誓い

http://www.city.minamisoma.lg.jp/sinsai/2011-08/tsudoi.jsp

【2011 年 8 月 20 日】

復旧活動に取り組んでいるボランティアに恩返ししようと「災害ボランティアの集い」が南海老のヒマワリ畑や真野小学校で開かれました。

真野小学校では、市長が感謝の言葉を述べ、全国各地から集まったボランティアの皆さんをねぎらいました。

この後、原一小マーチングバンド部の演奏や真野小伝統の万葉太鼓などが披露され、復興への気持ちを新たにしていました。

▲ボランティアの皆さんに感謝　▲全国各地から集まった皆さんと

##

編集より:様々な考え・意見が有る中、多くの方がそれぞれの信念でそれぞれの場所で南相馬市のことを考え行動されてきた姿を新聞の編集を通して 5 ヶ月間拝見してきました。そこには心に響く言葉や行動がいっぱいありました。今回の対応を見ていると国だって私たちと同じ、強いところ弱いところ、できることできないことがあります。自分できそうなことがあったら自分でやる。それを南相馬市民から改めて学びました。